

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (17 — 101)

団体名	(特非)場とつながりの研究センター	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 長谷川 計二
事業名	:仕事の日本語習得を通して行う生活相談と就労支援			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎○曜日」等で 記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
11月12日	事務所	1 (2)	外国人児童(ベトナム人)の母親より、学校における子どもへの通訳支援について相談
11月19日	事務所	1 (2)	ベトナム人女性より、就労に関する相談を受ける。
11月28日	三田市役所	3 (1)	三田市生活福祉課へ同行通訳、市営住宅居住についての説明を通訳(ベトナム人家族)
11月28日	三田市役所	1 (1)	三田市人権共生推進課長と面談、情報共有等行う
12月6日	事務所	1 (1)	中国人女性と面談。家計状況が厳しいうえ、教育費の支払いなどで困っているとのことで相談。取り急ぎ、食料を提供し、健康留意することを伝える。
12月10日	事務所	1 (1)	神戸市北区在住の中国人男性から日本語支援について電話相談。北神日本語教室とKICCのオンライン日本語支援について教える。
12月11日	三田幼稚園	1 (1)	三田幼稚園の個人懇談(ベトナム人幼児)の保護者の通訳を行う。
12月15日	篠山市今田町	4 (2)	篠山市内のベトナム人から生活に困っているとのことで食料支援を行う。
12月18日	三田市内の小児科	2 (1)	ベトナム人幼児の予防接種の為、母親と幼児との通訳をクリニックで行う。
1月16日	三田市西山 (相談者自宅)	2 (2)	ベトナム人家族からの生活相談(相談案件から社協に相談)
2月28日	事務所	2 (1)	ベトナム人夫妻から子どもの呼び寄せと在留資格に関する相談(SNS相談)

< 効果と成果 >

「仕事に必要な日本語講座」については、応募をするも参加申込がまったくなかった。参加者がいないという背景には費用やレベル設定、受講期間、広報不足等様々な要因が考えられる。

生活相談や就労支援に関しては11月～2月までの4か月で約20件寄せられた。特に外国籍女性からの相談が多く、生活全般や子育て、予防接種に関する相談などが寄せられた。そんな中、物価高や円安の影響を外国人県民は受け、生活困窮を訴えてくる相談もあり、アウトリーチで相談に対応した。

また行政機関や学校関係、事業所からの問い合わせや相談もあった。学校の先生は、突然学校に外国籍の児童が在籍し、保護者支援もするも言葉が壁になり、どこに相談すればいいかわからないと言われ当法人を頼ってこられた様子であった。

< 今後の展望 >

外国人県民の増加や定住化に伴い、生活相談は今後、多様化多岐に渡るとされる。そうなる様々な機関、団体と連携し課題解決していく必要がある。しかし、その機関、団体で活動、従事する人が多文化共生の視点を持ってもらう必要があり、そういった方々への啓発も今後ますます必要になってくると思う。

内なる国際化をどのように地域住民、県民に理解促進するか、また、入国し在住する外国人県民に地域を理解してもらうか、共生社会について一緒に学んでいく行く必要がある。「もてなす」のではなく「地域のいち構成員」として地域社会に暮らしていくことを、活動を通してこれからも双方に伝えていきたい。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	1 5 5 , 0 0 0
自己資金等	1 0 0 , 6 9 2
合 計	2 5 5 , 6 9 2

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	8 7 , 0 0 0	8 7 , 0 0 0
	委託事業費	9 9 , 2 2 0	0
	消耗品費	1 1 , 4 8 4	1 1 , 0 0 0
	その他 (広告宣伝費等)	1 8 , 8 9 0	1 8 , 0 0 0
	小 計	2 1 6 , 5 9 4	1 1 6 , 0 0 0
間接経費 (一般管理費)		3 9 , 0 9 8	3 9 , 0 0 0
合 計		2 5 5 , 6 9 2	1 5 5 , 0 0 0